岩盤ボーリング柱状図

調査名	その他河川　檜垣川　通常砂防事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　掘削・掘削のり面

ボーリング名	No.5	調査位置	広島県呉市清水	北緯	34° 14' 14.1342"
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所	調査期間	令和6年10月26日～ 令和6年10月30日	東経	132° 34' 17.0152"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 115.70m	角度	180°（上）～ 90 ～ 0°（下）	方向	北 0°、90°東、180°南、270°西
地盤勾配	水平 0°、鉛直 90°	使用機種			
総削孔長	28.00m	試錐機	シブヤ TSA-165		
エンジン	ホンダ EU26ij	ポンプ	丸山 MS157		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
1	114.70	1.00		砂	黒～暗褐							0[0](100)	GL-0.30m付近まで有機質である。										10/26	200			0	700	0	W3/0	0
2						w5		E	VI		D	0[0](100)	原岩組織はやや不明瞭。 マサ土化している。			13	1.15 / 1.45	13 / 300													
3												0[0](100)				17	2.15 / 2.45	17 / 300													
4												0[0](100)	GL-3.00～9.50m付近、風化している。			50	3.15 / 3.45	50 / 300	300												
5					褐灰					d		0[0](100)				50以上	4.15 / 4.41	50 / 260	260					200	D/MC			1	W3/8	8
6						w4		D	V		D	0[0](100)	礫状化しており、ハンマー打撃にて容易に粉砕できる。			50以上	5.00 / 5.10	50 / 100	100												
7												0[0](100)				50以上	6.00 / 6.10	50 / 150	150												
8												0[0](100)				50以上	7.00 / 7.07	50 / 70	70												
9												0[0](100)				50以上	8.00 / 8.08	50 / 80	80												
10					暗灰	w3		B	III	b	CM	17[27](100)	やや硬質となり、短柱状～棒状コア主体となる。	10/26 10.04		50以上	9.00 / 9.07	50 / 70	70					100							
11												0[0](100)	GL-10.05～15.50m付近、風化している。	10/28 10.65		50以上	10.00	貫入不能						70	D/m			1	W3/3	0
12				風化花崗岩	褐灰	w4	h1	D	V	d	D	0[0](100)	GL-11.70～12.00m、GL-15.00～15.20mの範囲は赤褐色となる。	10/28 11.66		50以上	11.00 / 11.05	50 / 50	50				10/26	160								
13												0[0](100)	礫状化しており、ハンマー打撃にて容易に粉砕できる。	10/29 12.48		50以上	12.00 / 12.04	50 / 40	40					147	D/MC	0	700	1	W3/8	0
14												0[0](100)		10/30 13.90		50以上	13.00 / 13.06	50 / 60	60												
15												0[0](100)				50以上	14.00 / 14.04	50 / 40	40												
16					灰	w3		C	III	b	CL	20[30](100)	GL-15.50～16.30m付近、片状コア主体となる。			50以上	15.00 / 15.05	50 / 50	50												
17					褐灰	w4		D	V	d	D	23[46](100)	GL-16.30～16.70m付近、礫状コア主体となる。			50以上	16.00	貫入不能						100	D/DB			1	W3/3	0
18						w3		C	III	c	CL	10[33](100)	GL-17.00～18.00mまでは縦方向の亀裂が大きい。			50以上	17.00	貫入不能						60	D/BC			1	W3/8	0
19												18[65](100)	棒状コアが主体であるがハンマー打撃にてコアは粉砕する。	10/30 17.98		50以上	18.00	貫入不能					10/28	115	D/DB			1	W3/3	0
20												0[0](100)	GL-19.50～22.00m付近、礫状コア主体となる。			50以上	19.00	貫入不能						120						
21					褐	w4		D	V	d	D	0[0](100)				50以上	20.00 / 20.10	50 / 100	100					80	D/MC			1	W3/8	0
22												0[0](100)				50以上	21.00 / 21.08	50 / 80	80												
23					灰	w3		C	IV	c	CL	0[0](100)	GL-22.00～24.90m付近、片状～短柱状コア主体となる。 やや軟質でハンマー打撃にてコアは粉砕する。			50以上	22.00	貫入不能						100	D/DI			1	W3/3	0
24									III			0[0](100)				50以上	23.00	貫入不能													
25												20[40](100)	GL-24.00m縦方向の亀裂が多くみられる。			50以上	24.00	貫入不能					10/29								

26						w4		D	V	d	D																						
27				風化花崗岩	灰	w3	h1	C	Ⅲ	b	CL																						
28	87.70	28.00																															
29																																	
30																																	
31																																	
32																																	
33																																	

GL-24.90～25.20m付近、礫状コア主体となる。
GL-25.20～26.60m付近、片状コア主体となる。

dip30～40° 位の亀裂が多い。

26																																	
27																																	
28																																	
29																																	
30																																	
31																																	
32																																	
33																																	